

KYOEI STEEL

✠ 共英製鋼株式会社



商号 共英製鋼株式会社(KYOEI STEEL LTD.)

本社所在地 大阪市北区堂島浜一丁目4番16号

設立年月日 1947年8月21日

資本金 185億16百万円

主要な事業 (1) 鋼片、各種鋼材、鉄鋼製品の製造・加工・販売
(2) 一般・産業廃棄物、医療系廃棄物の収集・運搬・処分業および自動車リサイクル事業ならびに 廃棄物再生資源化事業
(3) 鉄筋・ネジ節鉄筋加工と組立工事
(4) 鉄鋼製造プラントの設計および 鉄鋼製造技術の販売

URL <https://www.kyoeisteel.co.jp/>

環境リサイクル部 本社 06-6346-5266
東京営業所 03-6478-5502
西日本営業所 0836-45-3456



KYOEI STEEL



! ?

!?

どんな方法でリサイクル

電気炉で有害物を無害化。 環境と人にやさしい 溶融処理を行っています。

現在では焼却炉の性能向上もあり、電気炉以外でも難処理廃棄物に対応する事業者が増えてきました。

けれども焼却処理では、燃え残りの灰、いわゆる「残渣(ざんさ)」となったものを埋め立て処分しなければいけません。

一方、電気炉による溶融処理の場合は、残渣である“スラグ”も路盤材として再資源化が可能です。

また CO₂ 排出という観点においても、製鋼という本業の生産工程に廃棄物処理を組み込む方が合理的です。

社会から出る“負の資産”を、社会を支える“プラスの力”へと変えていく。電気炉だからこそ可能な、揺るぎない価値が今もなおそこにはあります。

共英製鋼グループの リサイクルフロー

産業廃棄物の検品

廃棄物を受け入れる際は、当社の受入基準に沿って検品。医療用廃棄物は専用車両にて巡回・回収も行っています。機密性の高い廃棄物や取り扱いに注意が必要な特別管理廃棄物も厳重に保管し、次の工程に備えています。

中間処理

電気炉やガス化溶融炉へ投入する前に処理を施し、溶融処理の効率化を図る工程です。破碎機や選別機、人の手によって、炉に入るサイズに破碎、材質別に分解・選別、投入しやすい形状にプレスするなどの加工を施します。

溶融処理

電気炉やガス化溶融炉の高熱であらゆる産業廃棄物を溶融しています。

電気炉に産廃物も同時投入。鋼材の品質を損なわず、多様な特性を持つ産廃物の完全無害化を実現しています。また、電気炉が不得手とする水分を含む廃棄物はガス化溶融炉処理(山口事業所のみ)。また、埋立処理を必要としないため、ゼロエミッションの達成が可能です。

マテリアルリサイクル

鉄は建築物に活用する鉄鋼製品に。スラグは道路の下地となる路盤材に。廃棄物から回収した非鉄や溶融メタルは有価販売。廃棄物を製品の資源にする「マテリアルリサイクル」を実現しています。



空気を清浄し
大気に放出

圧延・精整

可燃性ガス
(圧延工程で使用)

ケミカル リサイクル

ガス化溶融炉での処理工程で発生したガスは、鉄鋼製品づくりの燃料として有効活用。「ケミカルリサイクル」を実現するとともに、CO₂ 排出量の削減にも貢献しています。

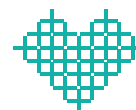
One-stop Recycling System

共英製鋼の願いをこめた 35年目の新製品です。

このたび、私たちは医療廃棄物・産業廃棄物などを処理しながら
製造した鋼材を「エシカルスチール」と名付けました。

見かけも成分も性能も、通常の鋼材・鉄筋とまったく同じ。
それでも私たちはあえて、今、これらの製品を
「エシカルスチール」と呼ぶことにしました。

35年前からつづく共英製鋼グループの願いに、今、新しい命が宿ります。



エシカル
スチール

純度 100% の共英スピリット。

長年つづけてきた鉄づくりに、なぜ今、新しい名前をつけるのか。
それは「エシカルスチール」にこそ、これからの共英製鋼のありたい姿が
純度高く結実していると私たちは考えるからです。

世界に無数に存在する電炉メーカーの中で、なぜ共英製鋼グループだけが
廃棄物処理を行う鉄づくりをいち早く着想し実行できたのか。
エシカルはもちろん、SDGsや環境経営といった考え方もなかった 35 年以上前に
なぜ私たちは製鋼という本業の中に廃棄物処理という社会課題を取り込み
時代に先駆けて新しい価値を生み出しつづけてこられたのか。

その本質をひもとき、社員ひとりひとりが再認識し、誇りをもつこと。
「エシカルスチール」は、そのための大切な背骨となるものです。

「エシカルスチール」には、廃棄物を処理しながら
製造したことトレーサビリティを管理・証明
できる取り組みを進めています。

また“エシカル”と標榜するからには、
廃棄物を処理しているという事実にとどまらず、
エネルギーや水資源の適正利用や、
人権の尊重などさまざまな公正さも不可欠です。

そんなものづくりの責任を果たすことが
これからの共英製鋼が社会に果たす
新たな付加価値となるはずです。

Spirit of Challenge

「エシカルスチールでつくられた街ができる」

たとえばいつか、そんな理想を叶えるために。
社員ひとりひとりが、今日やれる行動を積み重ねていきます。
共英製鋼グループが掲げる理念
「Spirit of Challenge」とは、
そんな毎日にこそ宿ると信じて。



詳しくは
公式 Web サイト
「エシカルスチール」
をご覧ください

電気炉をコアに、産業廃棄物処理の 多様化を次々と実現するパイオニア。

環境リサイクル事業の立ち上げに携わった山口事業所。前例のない電気炉での廃棄物処理を試行錯誤で実現した経験はチャレンジ精神として根付き、処理が困難な廃棄物の取り扱いも次々と成し遂げています。確立した技術は水平展開し、グループの技術力を牽引する存在です。西日本エリアの中核としてグループで最も広大な敷地。24時間稼働する電気炉は、グループ内最大の処理能力を持ちます。また、電気炉の特性を補完するガス化溶融炉や中和施設など設備面も充実。約3万件の医療機関・自治体・各種企業と契約を締結しています。



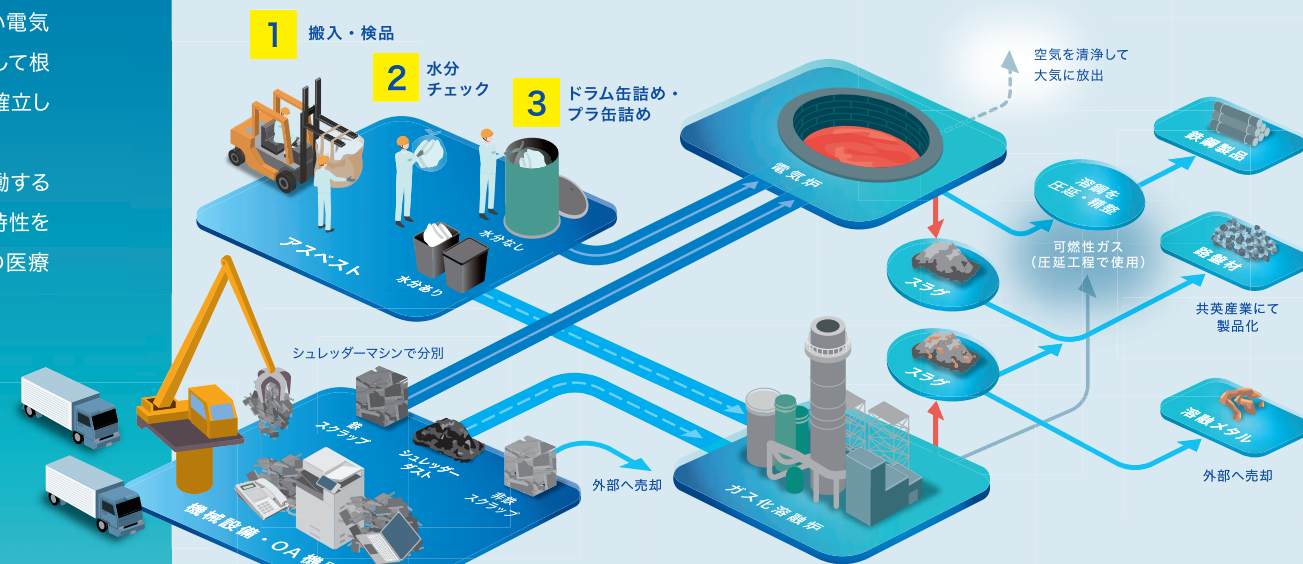
【処理物一覧】

産業廃棄物	金属くず、ガラス・コンクリート及び陶磁器くず、廃プラスチック類、がれき類、汚泥、燃え殻、ばいじん、鉱さい、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、動物のふん尿、動物の死体、13号廃棄物、廃アルカリ、廃酸、廃油（石綿含有物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等であるもの含む） 20品目
特別管理 産業廃棄物	汚泥、燃え殻、ばいじん、鉱さい、13号廃棄物、感染性産業廃棄物、廃石棉等、廃アルカリ、廃酸、廃油 10品目

【所在地】 山口県山陽小野田市大字小野田 6289-18

アスベスト 機械設備・OA機器 などの再資源化

処理困難物の代表格とされるアスベストも含めた多数の廃棄物処理の許認可を保有しています。機械設備・OA機器のように多様な材質を含む廃棄物を破碎・選別できる処理設備も充実。電気炉で処理できないものはガス化溶融炉で補完するなど、中間処理～溶融処理まで敷地内で完結しています。また、荷受け作業場を拡大し待機時間を削減。効率化を図ることで搬入ドライバー不足問題にも積極的に対応し、スムーズな資源循環を目指します。



アスベスト
含有物を含む
2,000t/年

処理困難物であるアスベストは慎重に検品し、安全・確実に電気炉へ投入

1. 搬入されたアスベストは丁寧に検品。 2. 水分チェックも目視で行う。 3. 水分を含まないものは電気炉へ。水分を含むものはガス化溶融炉へと、処理設備の特性に合わせて分別。



電気炉
最大許可能力
460t/日

主な設備(処理能力)

電気炉

定期修理工事及び年末年始を除き24時間稼働している電気炉。鉄を溶解する際に発生する7,000度のアーク熱で、多様な難処理廃棄物も溶融してしまいます。

ガス化溶融炉
最大許可能力
90t/日

ガス化溶融炉

ガス化溶融炉は、電気炉が不得手な水分を含む物質、廃プラスチックやガラス類の混合物であるシュレッダーダストなどを処理できます。発生した可燃性ガスは圧延工程で有効活用しています。今後は投入数量を増やすなどの設備改善を行い、ユーザーニーズに応えていきます。



シュレッダーマシン

大型廃棄物の破碎・選別が可能。事前に素材ごとに選別することで、電気炉への負荷軽減と、鉄鋼製品のクオリティを保ちます。

最大 1,994 t/日



解体機

ショーケース、自動販売機や大型設備機器の解体が可能。鉄・非鉄・その他資源に分別します。

最大 135 t/日



トナー加熱処理

微細なプラスチックであるトナーは粉塵爆発の恐れがあるため事前に蒸気で固化してから溶融。コーキスの代替としてガス溶融炉の燃料としても使用しています。

1,800t/年



中和設備

廃液を中和し場内設備にて有効活用しています。外部に排水することなく使い切る周辺地域と環境にやさしいクローズドシステムです。

最大
115.2 m³/日



新破碎機

電気炉、ガス化溶融炉で直接処理できない性状や形状の廃棄物を破碎しています。

最大
199.2 t/日



フロンガスの移充填をいち早く実現。 危険物を含む大型廃棄物もそのまま溶融。

近畿圏の産業廃棄物を受け入れている枚方事業所。グループ内で最初にフロンガスの移充填を実施。さまざまな業務効率化に向けたチャレンジを行っています。

電気炉の容量を活かし、大型の機械類や公共構造物であっても解体などの中間処理をせずそのまま投入可能です。RCFや有害物質の付着した人体への危険性を伴う廃棄物に直接触れることなく処理ができるので安全です。他にも、污泥、燃え殻、ばいじんを含めた不燃物全般の処理も得意としています。今後も時代のニーズに合わせて許可品目の拡大を図ります。



【処理物一覧】

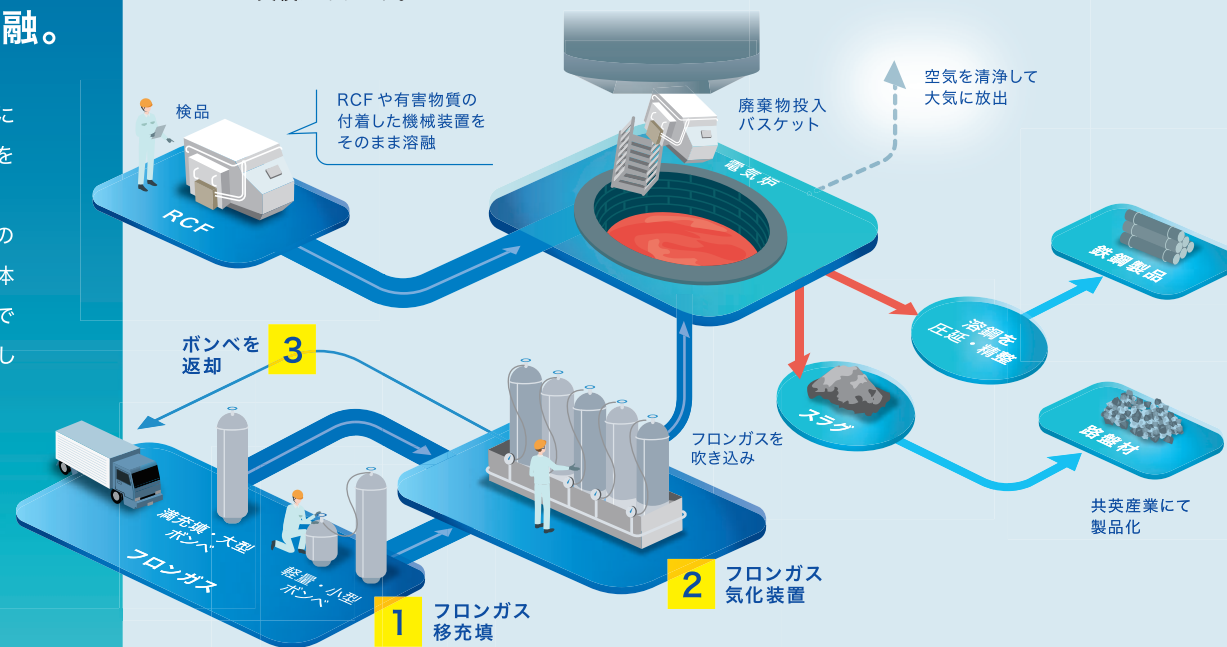
産業廃棄物 金属くず、ガラス・コンクリート及び陶磁器くず、污泥（無機污泥に限る）、燃え殻、ばいじん、鉱さい、13号廃棄物（石棉含有物を除き、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含む） 7品目

特別管理産業廃棄物 污泥、燃え殻、ばいじん、鉱さい（水銀又はその化合物、カドミウム又はその化合物、鉛又はその化合物、六価クロム化合物、砒素又はその化合物） 4品目

【所在地】 大阪府枚方市中宮大池 3-1-1

RCF*含有設備 フロンガス などの適正処理

フロンガスの移充填は、グループ内で一番最初に実施。破壊処理を効率的に行っております。また、RCFなどの有害物を含む大型廃棄物を解体や切断せずにそのまま処理可能。最大で2m角の廃棄物を溶融処理した実績があります。



*RCF(Refractory Ceramic Fiber: リフラクトリーセラミックファイバー)

フロンガス移充填をグループで最も早く導入。SF6(六フッ化硫黄)など 難易度が高いガスも処理可能

1. 小型ポンプや充填量の少ないポンプを大型ポンプに移充填。 2. 満充填の大型ポンプを気化装置に接続、電気炉へ吹き込み。 3. 回収ポンプの返却サイクルは約1週間とスピーディー。



2011年
フロン類破壊業
許可取得

受け入れたポンプ
は約1週間で返却

電気炉

鉄スクラップを溶解して鉄鋼製品を製造する工程の中に、一部産業廃棄物を入れ溶融、無害化。廃棄物に含まれるわずかな鉄も資源として再利用しています。

また、およそ1,600度にもなる溶鋼の温度測定を行うサンプリングはロボットで実施。作業の自動化により本質的な安全化、省力化を進めています。



電気炉
最大許可能力
180t/日

主な設備(処理能力)



フロンガス
気化装置
破壊量
120t/年

フロンガス移充填設備/フロンガス気化装置

全て自動制御。フロンガス破壊適正温度に達したタイミングで電気炉に吹込みます。

保管場

廃棄物の保管場は屋根付きで、シャッターによる全閉仕様。施設もできるため、廃棄物を厳重に保管します。



保管場
全体の保管容量
430m³

高効率のコンスチールを日本初導入。 解体～溶融の一貫処理でニーズに応える。

グループ唯一のコンスチール型電気炉を所有する名古屋事業所。生産性と環境性能の高い電気炉をコアに、国内の製造業が集積する中部地区からの多種多様な産業廃棄物を受け入れています。

難処理廃棄物であるRCFやフロンガスを含む大型設備も、解体から溶融処理までを行っています。他にも、感染性廃棄物やフロンガス以外の温室効果ガスの処理にも取り組んでいます。

場内の開発センターではグループ全社の技術開発に取り組み、より安全、適切、効率的な操業を目指して日々研鑽しています。



【処理物一覧】

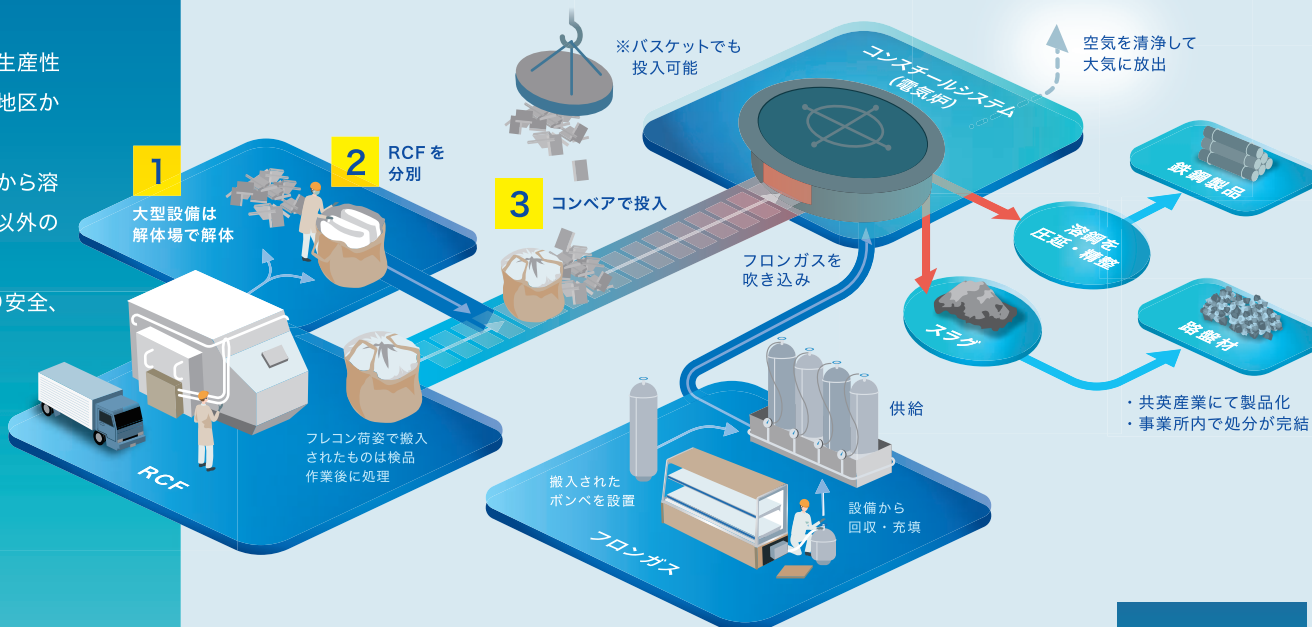
産業廃棄物 金属くず、ガラス・コンクリート及び陶磁器くず、ゴムくず、廃プラスチック類、汚泥、燃え殻、鉱さい、廃油、廃酸、廃アルカリ（石綿含有物、水銀含有ばいじん等を除き、水銀使用製品産業廃棄物を含む） 10品目

特別管理産業廃棄物 感染性廃棄物 1品目

【所在地】 愛知県海部郡飛島村大字新政成字末之切 809-1

RCF含有設備 フロンガス などの適正処理

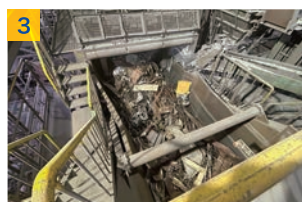
RCFやフロンガスの処理は、名古屋事業所の処理品目の中でも特にニーズが高い廃棄物です。他事業所で処理の出来ない解体が必要なRCF含有大型設備の受け入れは、グループで名古屋事業所のみが行っています。人の手による解体・分別作業は事前に排出事業者から提供された情報に基づき、実物の構造を確認しながら安全に作業しています。



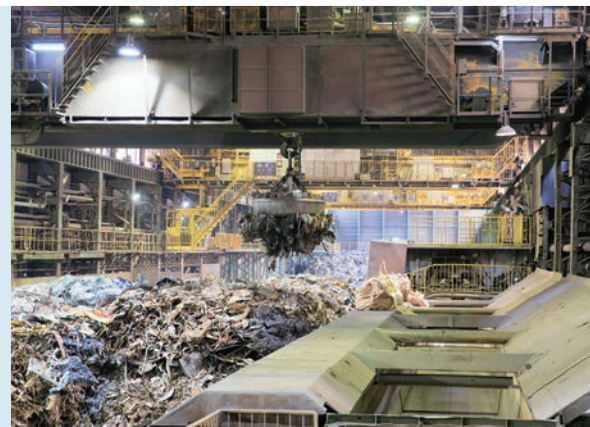
RCF設備解体
30基/年

RCFを含む大型設備の解体から分別、溶融処理、無害化まで一貫完結

1. RCFの飛散防止対策を施した所定の解体場にて、保護具・保護服装の作業員が解体作業。
2. 品目ごとに分別しフレコンバッグに詰める。
3. 電気炉の高温で適正・安全に溶融。



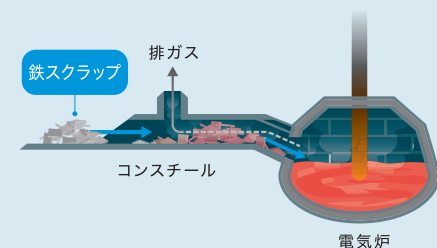
主な設備(処理能力)



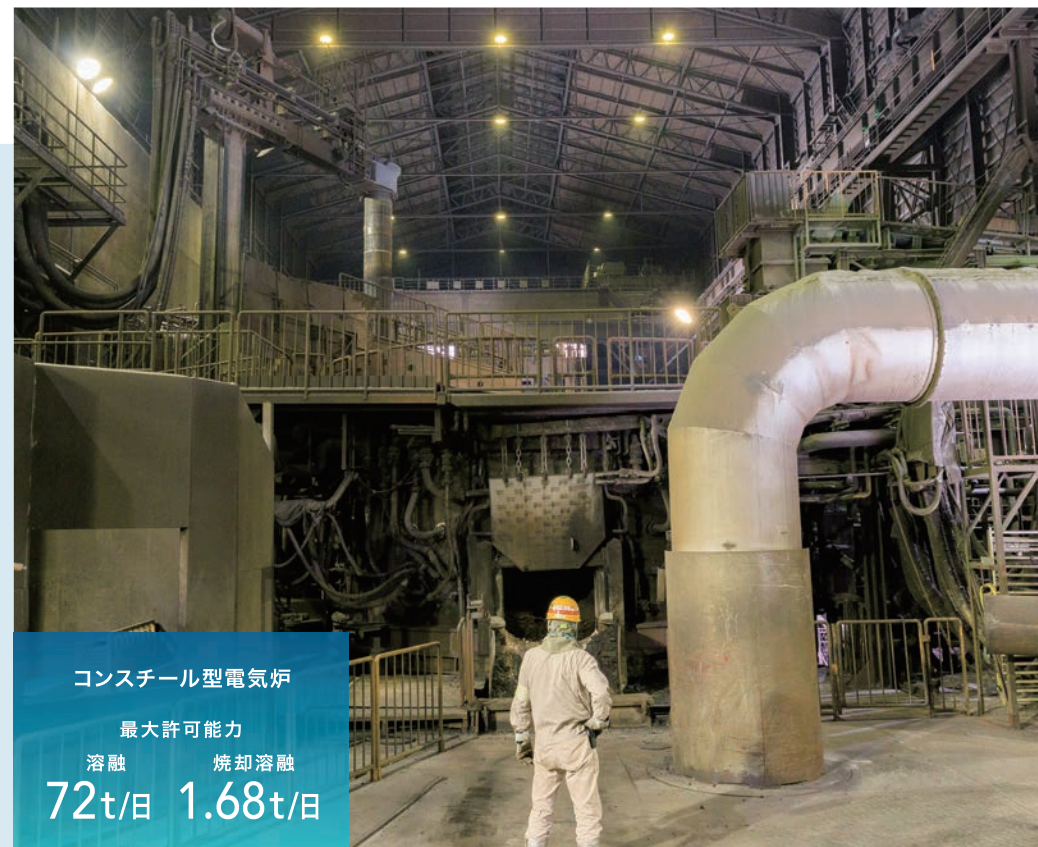
コンスチール型電気炉

1992年、コンスチール型電気炉を世界で2番目、日本で初めて導入。業界に先駆けて環境に配慮した操業を行ってきました。廃棄物を鉄スクラップと共にコンベアに乗せて連続的に電気炉に投入できるため、効率良く操業、処理が可能となり、電気効率が高くCO₂排出量を抑制できることもメリットです。

また、電気炉から出る排熱も投入前の鉄スクラップの加熱に再利用。そして、電気炉の蓋を開けないため蓄積した熱を逃さないなど、環境貢献度の高いシステムです。これまでに培ったコンスチールの安定稼働のノウハウに基づき、国内外の操業指導も実施しています。



コンスチール型電気炉
最大許可能力
溶融 72t/日
焼却溶融 1.68t/日



フロンガス回収／破壊設備

回収、破壊はもちろん、フロンガスを含む設備機器類からガスのみを回収し、電気炉での破壊処理まで一貫完結。引取ったフロン類を纏めて気化し、電気炉にて破壊処理をしています。フロンガスはCO₂に比べはるかに高い温暖化係数のものもあり、これらを無害化処理することにより地球環境に配慮しています。

フロンガス
回収／破壊
破壊量
120t/年

関東事業所

KANTO

難処理廃棄物を安全に無害化。 関東圏の要として処理増量にチャレンジ。

関東事業所はグループ唯一、関東より北に位置する拠点です。難処理廃棄物を積極的に処理し、時代とともに変化するニーズに応えています。中でも、リチウムイオン電池の処理やトナーの固化は、グループ内で山口事業所との二拠点のみで実施。また、カーボンやアルミといった製鋼事業の副資材となる廃棄物の処理も行っています。トロンボーンクーラーで電気炉からの排ガスを急冷することによりダイオキシン類の生成を抑制する効果があり、環境配慮に努めています。今後は、搬入方法の見直しや新たな設備投資などを行い、処理能力の増強にチャレンジしていきます。



【処理物一覧】

産業廃棄物

溶融処理：金属くず、ガラス・コンクリート及び陶磁器くず、汚泥、燃え殻（水銀含有ばいじんを除く）、ばいじん、鉱さい、がれき類（石棉含有物を除き、水銀含有ばいじん等、水銀使用製品産業廃棄物を含む） 7品目

加熱処理：汚泥（廃トナーに限る）、廃プラスチック類（石棉含有物、水銀含有ばいじん、水銀使用製品産業廃棄物を除く） 2品目

【所在地】 茨城県土浦市大畑 580

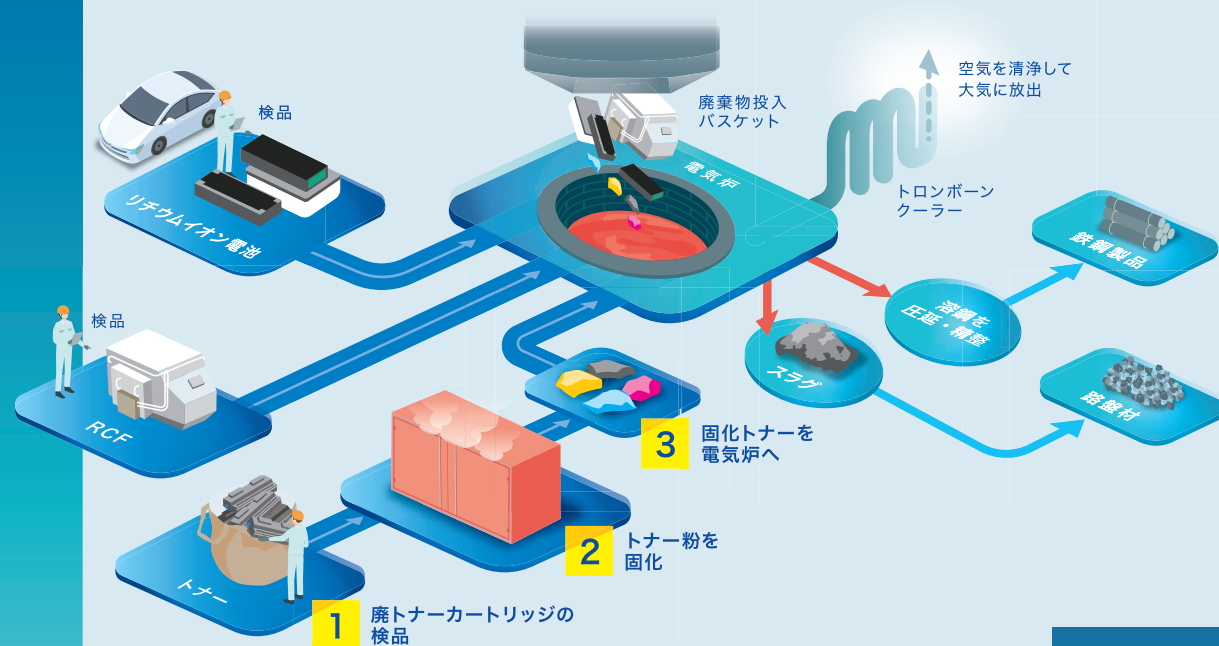
リチウムイオン電池

RCF

トナー

などの再資源化

リチウムイオン電池、RCF、トナーなど、処理困難な廃棄物の受け入れも行っています。2m 程度の大型廃棄物も解体をせずに電気炉に投入できるため処理までの行程がシンプルで、火災発生リスクや健康被害を回避できます。さらに、鉄くずとともに溶け切った後の廃棄物は現状復帰が不可能であるため、開発企業の機密情報も秘匿したまま再資源化できます。



トナー固化処理

最大許可能力
4.88t/日

独自の前処理設備によりトナー粉を固化。電気炉での粉塵爆発事故を回避

1. 廃トナーカートリッジは契約書に則り検品。 2. 電気炉投入の前処理として、過熱水蒸気により溶融固化。 3. トナー固形物はコークス燃料の代替物として事業所内で有効活用。



電気炉

最大許可能力
70t/日

主な設備(処理能力)



電気炉

鉄スクラップを溶解して鉄鋼製品を製造する工程の中に、産業廃棄物を入れ溶融、無害化しています。廃棄物に含まれるわずかな鉄も資源として再利用しています。



リチウムイオン電池
300t/年

リチウムイオン電池処理

環境省による車載リチウムイオン電池指定処理工場。全国 7 工場のうちのひとつとして認定されており、年間処理量は日本トップの実績。量一量分ほどのサイズのリチウムイオン電池も解体せずそのまま電気炉で処理可能です。



フロンガス気化装置
破壊量
120t/年

フロンガス気化装置

回収業者などから引取ったフロン類を纏めて気化し、電気炉にて破壊処理をしています。フロンガスは CO₂ に比べはるかに高い温暖化係数のものもあり、これらは無害化処理することにより地球環境に配慮しています。



トロンボーンクーラー
ダイオキシン排出量
規制値の
約 1/100

トロンボーンクーラー

周辺地域や地球への環境対策のための設備。電気炉から発生する排ガスを急冷し、ダイオキシン類の生成を抑制することにより規制値の 100 分の 1 程度の排出量となっています。

溶融処理から発生したスラグの最終処分を担い、リサイクルにより地域社会に還元。

共英製鋼グループ環境リサイクル事業の最終工程の処理を行う共英産業株式会社。大阪府、愛知県、山口県の3拠点でグループのスラグを破碎処理。新たな資源へと再生します。大阪、愛知ではコンクリート廃材も受入れ地域社会に貢献。破碎リサイクル、再生砕石製造事業のスタートから約50年、地域に寄り添い、地産地消の販路を強みに、資源循環型社会の一翼を担います。



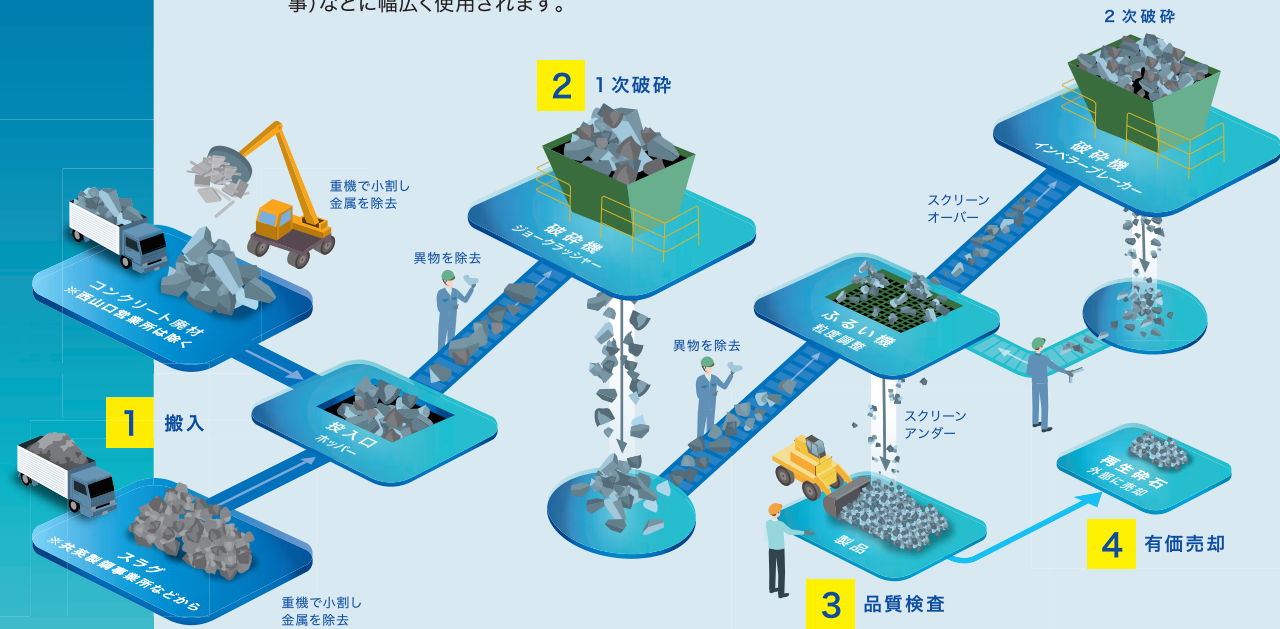
引受廃棄物	許可品目：がれき類、鉱さい、ガラスくず（石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を除く） 廃棄物名：コンクリート廃材、アスファルト廃材、鉄鋼スラグ 他
リサイクル商品	・再生砕石（RC-40）（RC-30）（RM-30） ・再生砂（RC-10） ・再生スラグ砕石

【各所在地】

本社：大阪市北区堂島2丁目1番31号 京阪堂島ビル7階
 北大阪営業所：大阪府枚方市北山1丁目8番1号
 名古屋営業所：愛知県海部郡飛島村大字新政成字末之切809-1
 西山口営業所：山口県山陽小野田市大字小野田字末広7525番19

スラグ コンクリート廃材 などの再資源化

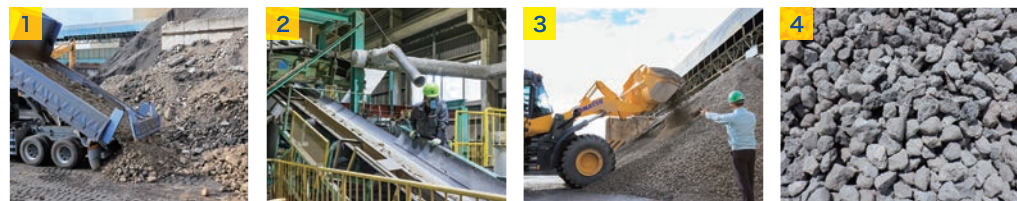
共英製鋼グループを主としたメーカー系廃棄物（スラグ）と、解体工事業者からの建設系廃棄物（コンクリート廃材）の引受処理を行います。スラグとコンクリート廃材を混合し、機械で段階的に破碎・選別・粒度調整。目視でも異物を丁寧に排除します。スラグを加えることで比重と強度を高め、天然砕石同等の安定品質を実現します。再生砕石となった製品は道路用路盤材として民間工事をはじめ、国土交通省、NEXCO、県発注（公共工事）などに幅広く使用されます。



プラント処理量
3工場合計
68万t/年

産業廃棄物（スラグやコンクリート廃材など）の再資源化を実現。

1. 主原料となるコンクリート廃材の補足材としてスラグを配合（山口は除く）。 2. 40mm以下になるまで繰り返し破碎・選別・粒度を調整し、製品化。 3. 製品となった再生砕石は地域の取引先に販売。



北大阪営業所 招提工場

プラント能力 3,216 t/日
138t/h 1基 264t/h 1基
 再生砕石常時在庫 5,000 m³
 工場敷地面積 9,400 m²

主な設備（処理能力）

北大阪営業所 招提工場

共英製鋼（株）枚方事業所から発生する製鋼スラグを中心に、地域で発生するがれき類（コンクリート廃材等）も含め、安定的に処理を行います。再資源化した製品は大阪、京都、奈良方面と広い市場を有していることから、販売ルートを十分に確保しています。1973年に創業した2ライン体制の工場。高い処理能力で資源循環型社会の実現を目指します。



名古屋営業所 名古屋工場

共英製鋼（株）名古屋事業所から発生する製鋼スラグを中心に、地域から発生するがれき類（コンクリート廃材等）も含め、安定的に処理を行います。再資源化した製品は名古屋、四日市エリアを拠点に販売ルートを十分に確保しています。処理能力の高い1ライン体制の工場設備です。



名古屋営業所 名古屋工場

プラント能力 1,280 t/日
160t/h 1基
 再生砕石常時在庫 5,000 m³
 工場敷地面積 8,250 m²



西山口営業所 東沖工場

プラント能力 1,248 t/24h
52t/日 1基
 再生砕石常時在庫 3,000 m³
 工場敷地面積 28,699 m²

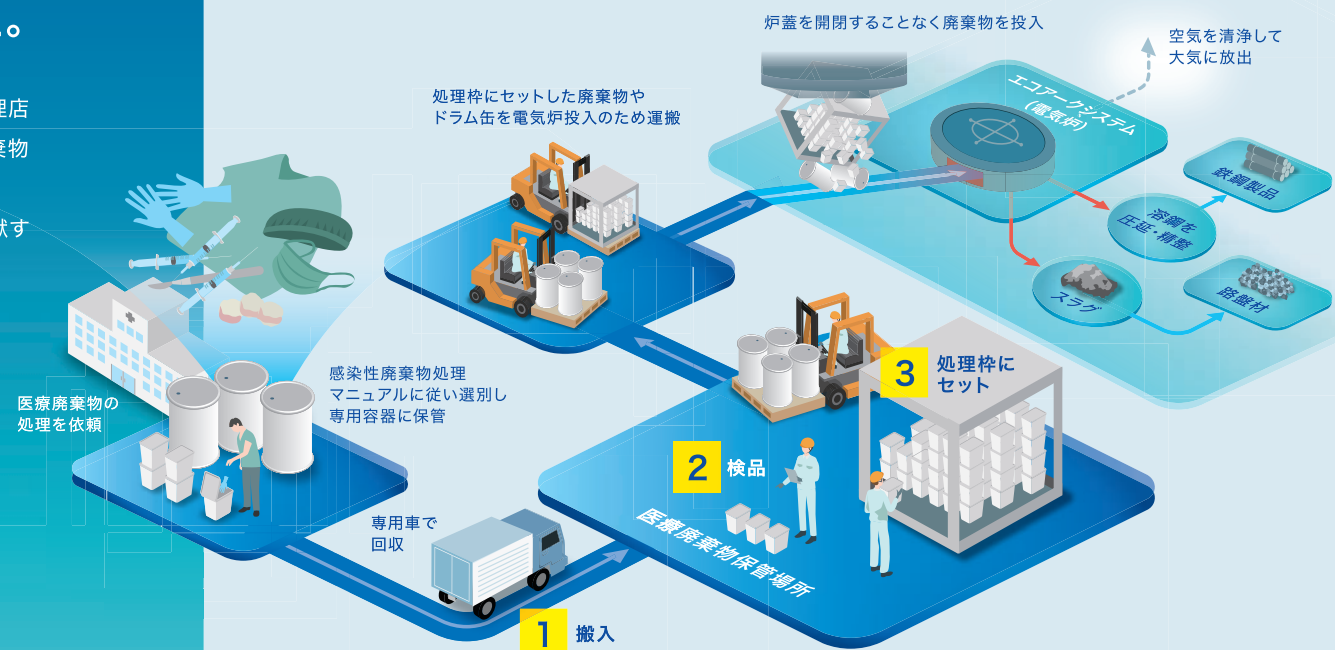


西山口営業所 東沖工場

共英製鋼（株）が所有する管理型処分場跡地を有効活用して処理設備を設置。2023年5月より1ライン体制での事業を行っています。工業専用地域内に28,000 m²以上の施設面積を有し、山口事業所の電気炉とガス化溶融炉から発生するスラグの再資源化処理に努めています。

医療廃棄物等の完全溶融処理により 社会の安全・安心を守る専門会社。

共英製鋼グループの一員である共英メソナは、自社収集及び代理店ネットワークを用いて医療機関より排出される感染性産業廃棄物を中心とした、様々な廃棄物を受け入れています。
医療機関や企業の事業活動を支え、安心した社会づくりに貢献する。不測の事態にも揺るがない安定的な操業に努めています。



医療廃棄物
再資源化事業
1993年
操業

回収から検品、溶融処理まで、感染性廃棄物に直接触れることなく完遂

医療機関にて排出された専用の金属製容器・プラスチック製容器・段ボールの廃棄。1. 代理店や自社運搬にて廃棄物を回収し搬入。2. 契約内容をもとに検品。3. 処理枠にセットし容器ごと電気炉で溶融。



【処理物一覧】

産業廃棄物 金属くず、ガラス・コンクリート及び陶磁器くず、廃プラスチック類
ゴムくず（石綿含有物、水銀含有ばいじんを除き、水銀使用製品産業廃棄物を含む） 4品目

**特別管理
産業廃棄物** 感染性廃棄物 1品目

【所在地】 本社：大阪市西淀川区佃6-4-8
西淀工場：大阪市西淀川区西島1-2-133(中山鋼業(株)内)

医療廃棄物処理
6,000t/年
2022年度実績



医療廃棄物処理

取り扱う約9割が医療廃棄物。中には感染性を含む物があり、適切な処理が求められます。
製鋼用電気炉による超高熱溶融で完全無害化処理を行い、鉄分は鉄鋼製品に、スラグは再加工により路盤材として再利用・再資源化しており最終処分が不要である環境に負荷がない処理を実現しています。



収集運搬
運搬車両
7台保有

収集運搬事業

近畿エリアの収集運搬が可能であり、運搬から中間処理までワンストップの対応が可能です。

主な設備(処理能力)

医療機器処理

小型～大型
多種多様な機器



医療機器処理

検査室で使用された分析機器や測定装置などの処理も実施。
解体することなく廃棄可能なため、機器内部に残存する感染性成分に人が触れることなく、安全に処理ができます。

エコークライト

許可処理量
52.3t/日



エコークライト(電気炉)

エコークライトは、電気炉内の排熱を活用し、鉄スクラップを予熱することで省エネ操業を可能とした環境に優しい設備です。



有価物売却
800t/年



機械解体事業 什器・空調機等を解体選別し、発生した鉄、アルミ、銅、ステンレス等を再生資源として売却します。

多様化する廃棄物処理ニーズにグループ全社で応える

電気炉で鉄スクラップを溶解する際に発生する数千度の熱を有効利用しようとの発想から、当社が処理技術を開発した事業です。

電気炉による無害化溶融処理のパイオニアが手がける安全・確実な処理として多くの企業や自治体から信頼を得ており、電気炉による産業廃棄物処理において5割以上のシェアを占めています。

電気炉処理の強みを活かしつつ、資源リサイクル技術の開発にも注力し、社会の環境意識の高まりにともなうさまざまな廃棄物リサイクルへのニーズに応える。より一層質の高い資源循環を目指します。



Network

処理対応一覧

	産業廃棄物																			特別管理産業廃棄物											
	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	動物のふん尿	動物の死体	13号廃棄物※	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	鉱さい	ばいじん	感染性産業廃棄物	廃石綿等	13号廃棄物※	
山口 事業所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
枚方 事業所	○	○						○	○	○		○									○	○	○			○	○				
名古屋 事業所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																			○		
関東 事業所	○	○				○		○	○	○	○	○																			
共英 産業		○							○	○	○																				
共英 メソナ						○	○	○	○																				○		

※産業廃棄物を処分するために中間処理したもので、他の 19 種類の産業廃棄物に該当しないもの。施行令第 2 条第 13 号で規定されている。

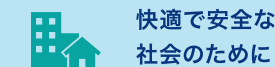
共英製鋼グループのサステナビリティ

共英製鋼グループは、社会の発展と地域環境との調和に貢献するエッセンシャルカンパニーを目指します。サステナビリティ課題を経営課題として捉え、事業戦略への反映に努めます。

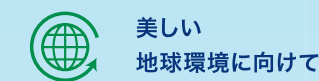


メスキュード医療安全基金

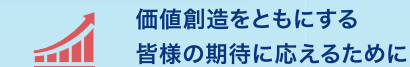
医療系廃棄物の収集運搬会社や処理会社で基金を設立。2002年より医療関係団体へ寄付を毎年継続し、累計4億6千万円超えの実績となりました。今後も引き続き社会と地域への一層の貢献を目指します。



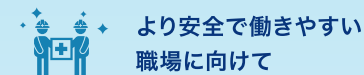
快適で安全な
社会のために



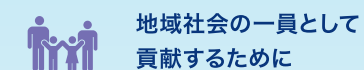
美しい
地球環境に向けて



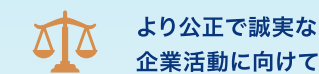
価値創造とともに
皆様の期待に応えるために



より安全で働きやすい
職場に向けて

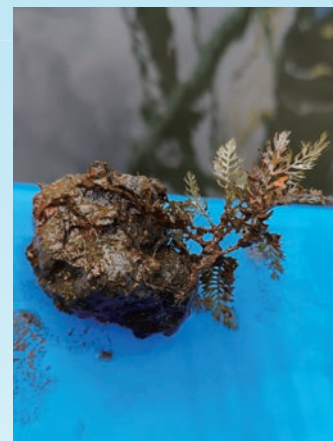


地域社会の一員として
貢献するために



より公正で誠実な
企業活動に向けて

Sustainability



スラグ海洋利用の取組

スラグの路盤材以外のリサイクルとして、海洋での藻場形成について研究を行っています。海藻の生育に不適合な海底にスラグを設置することで、海藻の生育基盤を創出し、さらに海藻を餌とする魚類の増殖効果があると考えられます。また海藻を生育することで、CO₂を海藻に固着することができます。

オリーブ植樹

山口事業所近隣の造成地をオリーブ栽培で再生する取り組みを始めました。地域密着型で加工・販売を行い、雇用創出を目指すと同時に、CO₂吸収効果も期待できます。2021年に80本から始まった農園は、2029年までに計2,000本を植樹する計画です。



サンプリングロボットによる自動化

従来、人が行っていた炉前での危険を伴う作業のロボット化をすすめています。AIを利用した画像や動画解析による成分分析の自動化など、産学連携の下で課題解決に努め、危険作業の撲滅を目標とします。



新事務所 山口事業所

国内最大の拠点である山口事業所の工場リニューアルプロジェクトが進展し、2024年に完成しました。事務所内は自社製品を随所に可視化したデザインで、社内外から高評を得ています。



開発センター 名古屋事業所

大地震発生時に避難ビルとしての機能を備え、高さ12mの津波に耐え得る構造となっています。全従業員と近隣住民合わせて300人を安全に収容可能な設計です。



新厚生棟 関東事業所

「働きやすい職場環境づくり」を目的に2023年に新設しました。自社製品を基礎に使用し、シャワー室、カフェテリアなど福利厚生の実をすすめています。



寄付金付き自動販売機

社内に自動販売機を設置。社会貢献の取り組みのひとつとして、購入毎の売上手数料は全額自然保護団体へ寄付を行います。また、停電でも飲料を取り出し可能。災害時支援に対応します。

リサイクル工房にじいろ 山口事業所

小型家電の解体や分別を行う工房を開所。リサイクル業務に従事しています。公募で決まった工房名には「多くの個性が集まってすてきな社会を」という意味が込められています。



太陽光パネル設置 枚方事業所

2022年、製品倉庫屋根に設置。この設備によって削減されるCO₂排出量は、年間190トンの見込みです。名古屋事業所、山口事業所でも稼働中。CO₂排出量削減の取り組みを全社で積極的に進めます。